

インドネシア共和国ローカンウル県及びプカンバル市-川崎市 に関する都市間連携

川崎市とインドネシア国リアウ州地域自治体（ローカンウル県及びプカンバル市）は、2019年に環境調和型経済社会形成をテーマに掲げた都市間連携事業を開始した。同テーマに加え、2020年より、州都プカンバル市のゼロカーボンシティ形成のため、既に2050年ゼロカーボンシティを宣言している川崎市による知見共有や、脱炭素化に資する案件形成の検討等の協力を行っている。

インドネシア共和国リアウ州地域

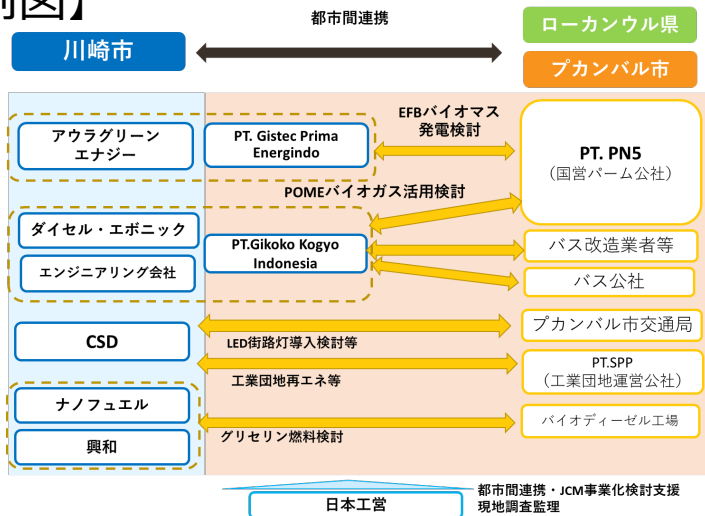
- 世界最大のパーム油産業地域であり、同産業を中心としたサーキュラーエコノミーの推進がさらなる経済発展に必要
- プカンバル市の優先施策として**スマートシティ形成**を掲げる一方、**ゼロカーボンシティ形成**についても関心を示す
- 中央政府より優先工業団地に認定され、プカンバル市内で開発中のテナヤン工業団地は、**エコ工業団地**としての開発を目指す

川崎市

- 2020年2月に「2050年のCO₂排出実質ゼロ」を表明。同年11月に脱炭素戦略「**かわさきカーボンゼロチャレンジ2050**」を策定
2050年の脱炭素社会達成に向けたバックキャストイングアプローチにより2030年マイルストーンを算出
- 地球温暖化対策の基本的な考え方や先導的な取り組みを示す「**川崎市地球温暖化対策推進基本計画**」を2022年以降に改定予定
- 1997年にエコタウンプランを策定、「ゼロ・エミッション構想」を地域の**環境調和型経済社会形成**のための基本構想として位置づけ、地域振興の基軸として推進することにより、先進的な環境調和型のまちづくりを推進

インドネシア共和国ローカンウル県及びプカンバル市-川崎市に関する都市間連携

【体制図】



【写真】



オンラインワークショップ（2022年2月）

【事業活動・成果】

<都市間連携活動>

- 第14回川崎国際環境技術展やGIC※交流会において、本事業の紹介及びプカンバル市の環境ニーズについて情報発信した一方で、GIC会員企業とのビジネスマッチングにおいて、GIC会員企業から環境・脱炭素関連技術を紹介し、**事業形成に向けた橋渡しを実施**。
- オンラインワークショップにおいて、**川崎市及びジャカルタ特別州より脱炭素社会に向けた取組**についてプカンバル市に情報共有し、**同市によるゼロカーボンに向けた取組の開始を促進した**。
- 川崎市プカンバル市間の**2050年ゼロカーボンシティに係るLOIの内容を固めた**。（署名に向け手続き中）

<JCM案件形成>

- EFBバイオマス発電事業の検討**：バイオマス燃料に係る詳細調査を実施した。
- POMEバイオガス活用事業の検討**：バイオCNG精製プラントの設計及び導入・運営コストに係る検討を実施した。
- バイオディーゼル（BDF）製造由来ナノグリセリン燃料事業の検討**：グリセリン市場調査及びBDF工場にとっての経済的メリットの検討を実施した
- 工業団地におけるエコグリッド事業の検討及びLED街路灯導入事業の検討**：現地情報を基に、EMS導入による省エネ効果の算定を実施した。

※GIC…かわさきグリーンイノベーションクラスター